Canon PIXUS MX850 series

1 最初に必ず読んでね!

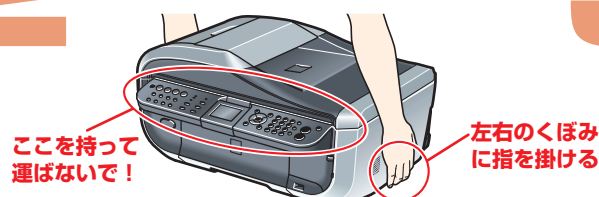
かんたんスタートガイド

本体設置編

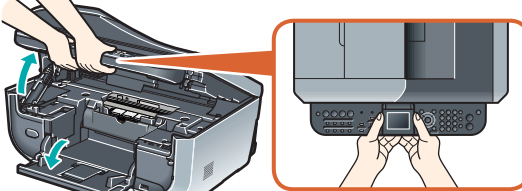
1 はじめにすること

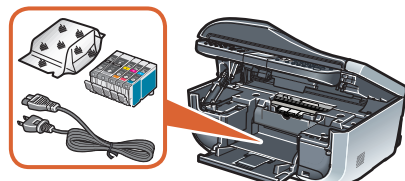
1 本機の付属品を確認する

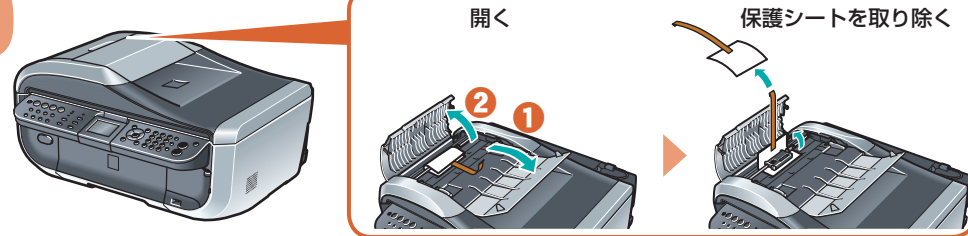
梱包箱のふた、または『操作ガイド(本体操作編)』の「パッケージの内容を確認する」を見て、付属品がすべてそろっていることを確認してね！

2 梱包箱から本機を取り出し、テープと保護シートを取り除く

本機の電源を入れる前に、本機に貼られたオレンジ色のテープと保護シートを**すべて**取り除いてください。

3 スキャナユニット（プリンタカバー）を両手で持ち上げ、排紙トレイを開く

重要

原稿台カバーといっしょにスキャナユニット（プリンタカバー）を持ち上げてください。

4 プリントヘッド、インクタンク、電源コードを取り出す

プリントヘッド、インクタンク、電源コードは排紙トレイの内部に収納されています。

5 原稿フィーダカバーの保護シートを取り除く

2 電話回線を接続しよう！

ファクスとしてご使用にならない方は、「3電源を入れよう！」へ進んでください。

電源を入れる前に必ず接続してね！

ここでは電話回線を接続する方法の代表的な例を説明します。
その他の接続方法については『操作ガイド（ファクス操作編）』の「電話回線を接続する」を参照してください。

重要

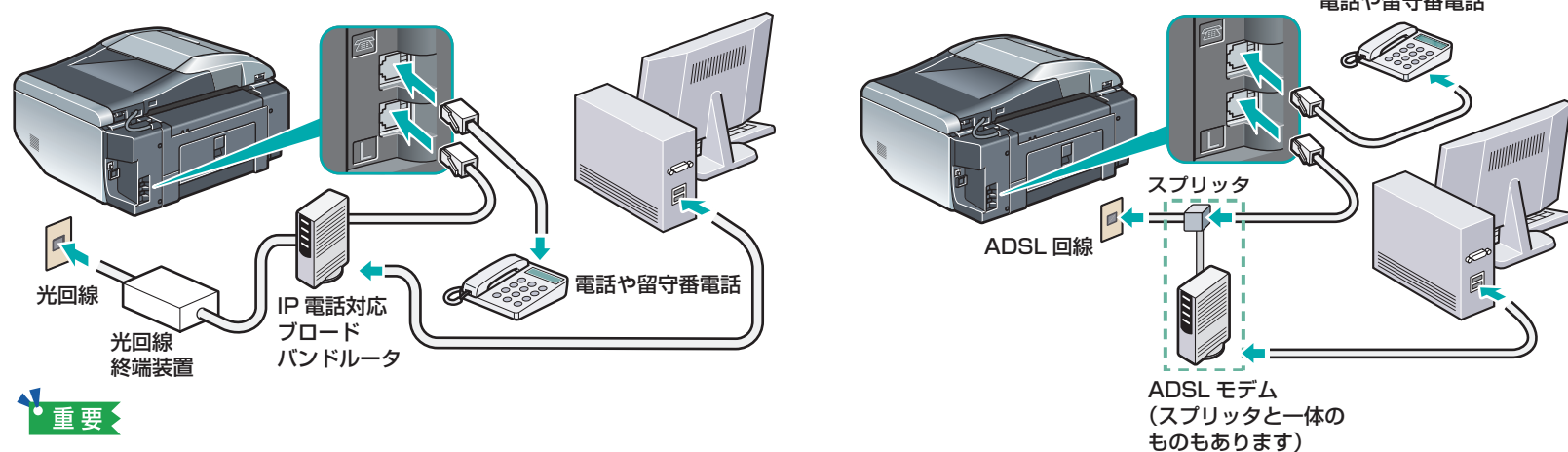
電話回線は電源を入れる前に接続してください。順序を間違えると、電話回線の種類が正しく設定されず、ファクスが使用できない場合があります。先に電源を入れてしまった場合は、いったん電源を切って電源プラグを抜き、1分以上たった後、電話回線を接続し直してください。

本機の外付け機器接続部に電話機などを接続するときは、外付け機器接続部のカバーを取り外してください。

■ ファクス専用で使用する

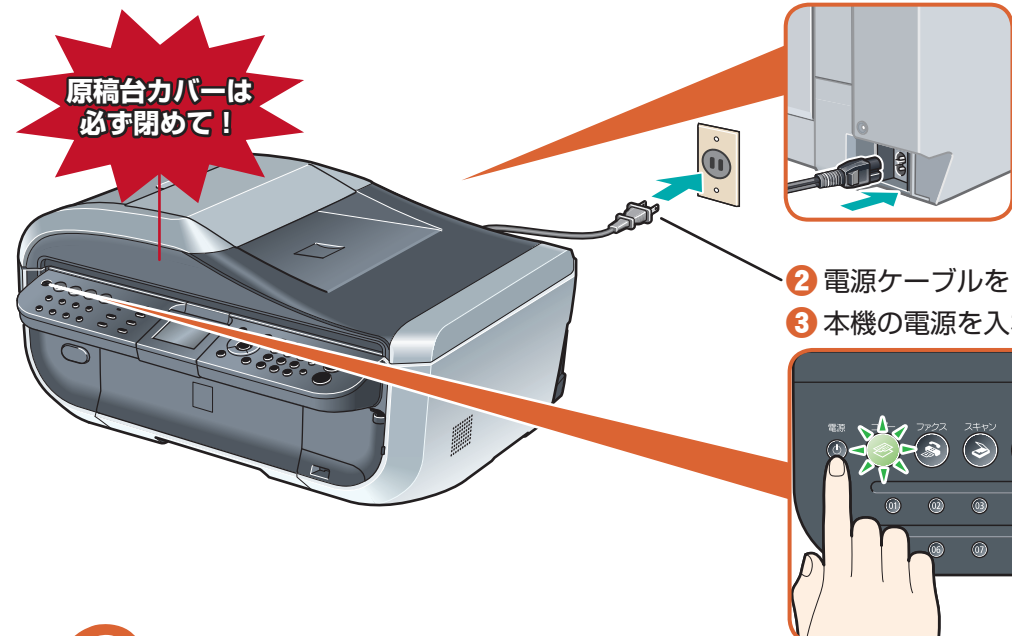
■ 電話や留守番電話と接続する

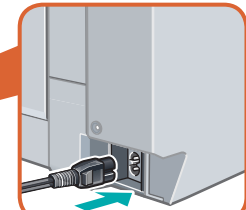
■ 光回線（ひかり電話）に接続する

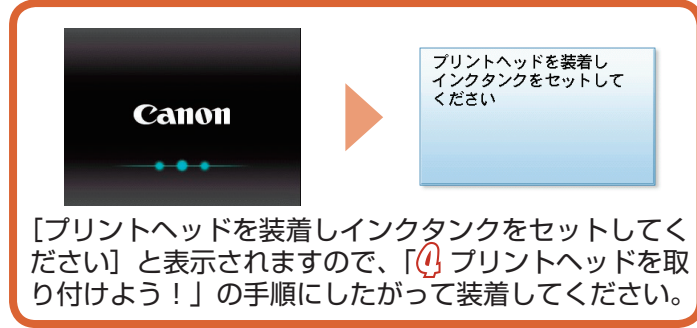
■ ADSL 回線に接続する

重要

- ADSL 回線に接続して使用する場合は、手動で電話回線の種類を設定してください。
  詳しくは、『操作ガイド（ファクス操作編）』の「ファクスの基本的な設定」の「電話回線を接続する」を参照してください。
- 必ず付属のモジュラーケーブルをお使いください。

QT5-1136-V01 XXXXXXXX PRINTED IN THAILAND

3 電源を入れよう！

❶ 電源ケーブルを本機の差込口にしっかり差し込む

本機の外側をお手入れするときは、やわらかい布でやさしく拭いてね！
お手入れについては、『操作ガイド（お手入れ編）』の「清掃する」を参照してね！

❷ 電源ケーブルをコンセントに差し込む

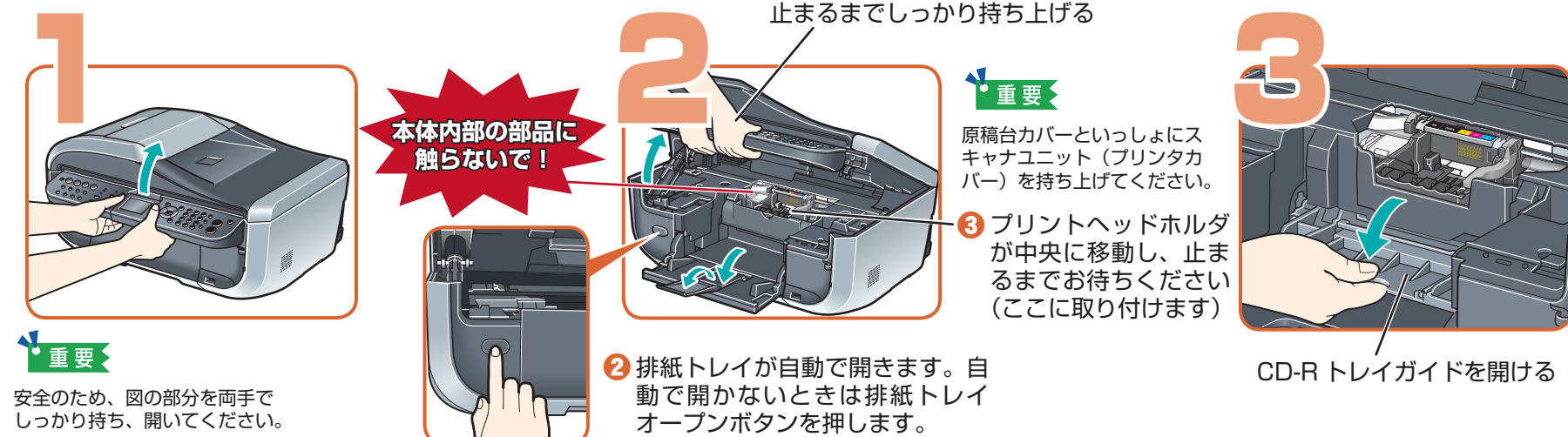
❸ 本機の電源を入れる

［プリントヘッドを装着しインクタンクをセットしてください］と表示されますので、「4 プリントヘッドを取り付けよう！」の手順にしたがって装着してください。

4 プリントヘッドを取り付けよう！

1

重要

安全のため、図の部分を両手でしっかり持ち、開いてください。

2

本体内部の部品に触らないで！

❶ スキャナユニット（プリンタカバー）を止まるまでしっかり持ち上げる

❷ 排紙トレイが自動で開きます。自動で開かないときは排紙トレイオープンボタンを押します。

❸ プリントヘッドホルダが中央に移動し、止まるまでお待ちください（ここに取り付けます）

重要

原稿台カバーといっしょにスキャナユニット（プリンタカバー）を持ち上げてください。

3

CD-R トレイガイドを閉める

4

止まるまでしっかりと上げる（重い場合があります）

5

6

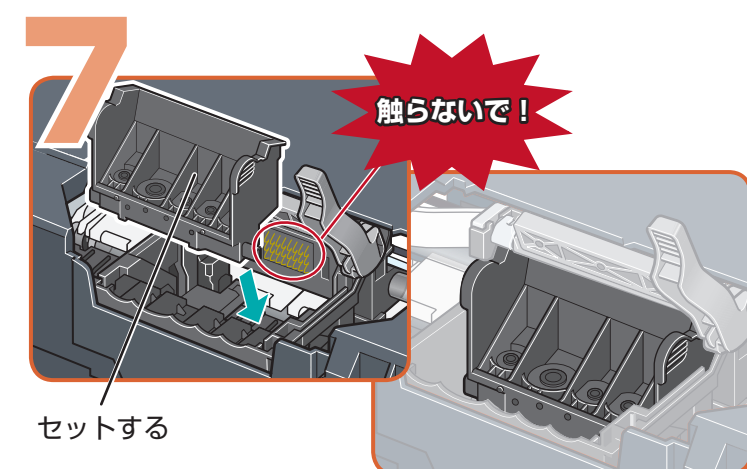
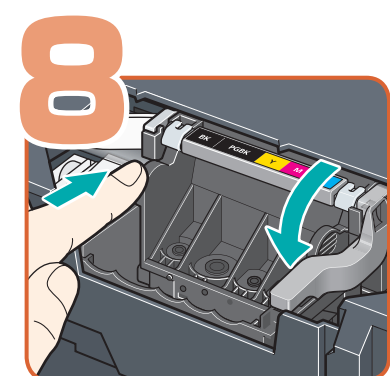
保護キャップを取り外したら捨てる

注意

袋の内側と保護キャップの内側に、透明または薄い青色のインクが付着している場合がありますが、品質上問題ありません。インクで手などを汚さないようご注意ください。

7

セットする

8

プリントヘッドを押しながら、レバーを下までさげる

トラブルが起きたときには、『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」を参照してね！

インクタンクの取り付け つづき

5 インクタンクを取り付けよう！

- 最初に取り付けるインクタンクは必ず付属のものをご使用ください。古いインクタンクを使うと故障の原因となります。本機で使用できるインクタンクについては、『操作ガイド』の裏表紙を参照してください。
- スキャナユニット（プリンタカバー）を10分間以上開けたままにすると、プリントヘッドが右側へ移動します。その場合は、いったんスキャナユニット（プリンタカバー）を閉じ、開け直してください。

1

オレンジ色のテープⒶを矢印の方向に引いて、すべてはがしてから、包装Ⓑをはがす

2

インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップをひねって、取り外したら捨てる

3

ラベルの色の順にすべてのインクタンクを取り付ける

BK	PGBK	Y	M	C

❶ PUSH を押してカチッというまでしっかり押し込む
❷ インクランプの点灯（赤色）を確認する

4

5

閉じる

CD-R トレイガイドをしっかり閉じてね！

6

閉じる

重要

安全のため、必ず図の部分を両手でしっかり持ち、閉じてください。

動作音がしなくなるまで（約2分）待ってから、次の操作に進んでね！

少し待って！

エラーランプ
エラーランプが点灯し、液晶モニターにエラーメッセージが表示されている場合は、『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」を参照してください。

6 プリントヘッドの位置調整をしよう！

1

重要

この画面が表示されていないときは、『操作ガイド（お手入れ編）』の「印刷にかすれやむらがあるときは」の「プリントヘッド位置を調整する」を参照してください。

2

用紙サポートを引き出す

用紙ガイドをつまみ、左端までスライドさせる

3

❶ 付属の専用紙（MP-101）を2枚、印刷面（より白い面）を上にしてセットする（まっすぐに入れてください）
❷ 右側のガイドに合わせる
❸ 用紙ガイドをつまみ、用紙の幅に合わせる

4

［はい］が選ばれていることを確認し、OK ボタンを押す

少し待って！

パターンの印刷が終了するまで（約13分）待ってから、次の作業に進んでね！

5

パターンが青と黒で印刷される

図のようなパターンが印刷されたら、プリントヘッド位置の調整は完了です。

6

重要

液晶モニターに［自動ヘッド位置調整に失敗しました］と表示されている場合は、『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」を参照してください。

7 ファクスの受信の設定をしよう！

ファクスとしてご使用にならない方は、設定する必要はありません。

ファクスを受信するためには、「受信モード」の設定が必要です。
ご使用の用途に合った受信方法を選んでください。

1

押す

2

押す

3

［受信モード設定］が選ばれていることを確認し、OK ボタンを押す

4

▲▼ ボタンで受信モードを選び、OK ボタンを押す

- 電話よりファクスをよく使う
- ファクスだけで使う
- ファクスより電話をよく使う

電話よりファクスをよく使う（ファクス優先モード）

着信すると、ファクスか電話かをチェックして、ファクスなら受信、電話なら呼び出し音を鳴らします。

電話がかかると・・ → 電話がかかってきたことを判断し、呼び出し音が鳴ります。受話器をとってお話ください。

ファクスが送られると・・ → ファクスが送られてきたことを判断し、自動的に受信します。

※ ファクス受信時に呼び出し音は鳴りません。また、電話がかかってきたときに呼び出し音が鳴るまでに、多少時間がかかります。電話機の呼び出し音をすぐに鳴らしたいときは、電話優先モードをご使用ください。
※ 電話機によっては呼び出し音が鳴らない場合があります。

ファクス 04/10 10:02
画質：標準
〈ファクス優先〉
A4 普通紙 カセット
状況：待機中

ファクスだけで使う（ファクス専用モード）

ファクス専用の電話回線をお持ちの方は、ファクスだけで使用できます。

電話がかかると・・ → 電話は受けられません。電話を受けたいときは、他のモードを選んでください。

ファクスが送られると・・ → 自動的に受信します。

※ ファクス受信時に呼び出し音は鳴りません。

ファクス 04/10 10:00
画質：標準
〈ファクス専用〉
A4 普通紙 カセット
状況：待機中

ファクスより電話をよく使う（電話優先モード）

電話がかかってくることが多い方は、普段は電話として受け、必要なときにボタンでファクスに切り替えます。

電話がかかると・・ → 呼び出し音が鳴ります。受話器をとってお話ください。

ファクスが送られると・・ → 呼び出し音が鳴ります。受話器を取ると「ポーポー」音が聞こえるので、［カラースタート］または［モノクロスタート］を押すと受信します。

電話がすぐにつながります

ファクス 04/10 10:01
画質：標準
〈電話優先〉
A4 普通紙 カセット
状況：待機中

※ 電話機からファクスの受信を始めることもできます。
受話器を上げたまま、「25」を押してください。
詳しくは、『操作ガイド（ファクス操作編）』の「ファクスを受信する」を参照してください。

これで取り付け・調整が完了しました。

パソコンに接続してご使用になる場合、USB 接続でご使用になる方は『かんたんスタートガイド（USB 接続編）』を、LAN 接続でご使用になる方は『ネットワークセットアップガイド』を参照してソフトウェアをインストールしてください。
『かんたんスタートガイド（USB 接続編）』または『ネットワークセットアップガイド』は、Windows と Macintosh でのインストール方法を説明しています。